授業科目名： 社会科公民科指導法Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：手島　純 担当形態：単独

実務内容 （実務家教員の場合）	本科目は学校現場に則した学修内容であり、学校現場経験のある教員が、模擬授業も含め実践的な視点で指導する。
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目 （中学校社会及び高等学校公民）
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

「学位授与の方針」との関係

・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。

・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

（１）中学校学習指導要領における教科の「目標」「内容」「内容の取扱い」を理解し、それに基づいた授業展開ができるようにする。

（２）「どのような社会科教師を目指すか」を説明できるようにする。

（３）当教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。

授業の概要

中学校社会科三分野の「目標」「内容」「内容の取扱い」について統一的把握できるようにする。加えて各人が模擬授業を行い、振り返り（省察）をすることで、実践的な資質・能力を高めることができるようにする。

授業計画

第１回：学習の目的：社会科指導法における教育目標、育成について

第２回：「中学校学習指導要領」社会科改訂の趣旨について

第３回：学習指導要領における当該科目の目標、内容及び内容の取り扱いについて

第４回：学習評価について（評価の方法）

第５回：学習指導案の作成について

第６回：授業づくりの設計について

第７回：情報機器及び教材の効果的活用法について

第８回：「主体的・対話的で深い学び」の展開について

第９回：授業づくり①－地理的分野の指導法（模擬授業も含む）

第１０回：授業づくり②－歴史的分野の指導法（模擬授業も含む）

第１１回：授業づくり③－公民的分野の指導法（模擬授業も含む）

第１２回：授業づくりの振り返りについて

第１３回：授業の学問領域との関係について

第１４回：学問領域の考察から学習指導への還元について

第１５回：授業改善について（まとめ）

定期試験

＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書 （１）手島純編（2022）『社会科・地歴科・公民科指導法』星槎大学出版会 （２）文部科学省「中学校学習指導要領」（平成 29 年） （３）文部科学省「中学校学習指導要領解説　社会編」（平成 29 年）
参考文献 （１）中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成 28 年 12 月）【概要】 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/__icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf
学生に対する評価 スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。